

泡盛ビジネスセミナー

～泡盛の輸出・インバウンドの促進に向けて～



【総務部】

3月4日、内閣府と沖縄県は、クールジャパン推進会議に併せ、クールジャパンの取組として泡盛製造者や流通業者などを対象とした「泡盛ビジネスセミナー」を開催しました。

同セミナーでは、200万人を超える来沖外国人観光客に対するPR方法など、泡盛の出荷拡大のための様々なアイデアが提言されました。

基調講演

セミナー冒頭、(株)はせがわ酒店の長谷川浩一代表取締役社長から基調講演がありました。講演では、泡盛は「瓶で熟成」し、年月を経るほどにすばらしい古酒になることをもっとアピールするべきといったことや、世界に目を向ければ「市場は無限」にあり、世界に向かって行つてはどうかといった様々なアドバイスがありました。

パネルディスカッション

続くパネルディスカッションにおいては、泡盛を海外や外国人観光客などに対してアピールしていくポイントについて、外国人の視



長谷川浩一氏

点からの意見など、多くのアイデアが出され、議論が深まりました。

(主な提言事項)

- ・ スマートフォンなどに向けた情報発信の強化
- ・ 泡盛コンペティションの開催
- ・ 米国に設置予定のジャパン・ハウスの活用
- ・ 那覇空港における泡盛カウンターの開設
- ・ 香港や中国を意識した海外展開
- ・ ハードリカーとしての販売推進

鶴保大臣による閉会挨拶

セミナーの閉会に当たり、鶴保クールジャパン戦略担当及び沖縄担当大臣から挨拶がありました。大臣は、沖縄の酒造業界が当面する厳しい経営環境を踏まえ、会場に集まった約120名の泡盛製造者などに向けて「皆さんで動いていただいて、経験値を高めていく



鶴保大臣の閉会挨拶

【基調講演】

長谷川 浩一 (株)はせがわ酒店代表取締役社長

【パネルディスカッション】

(モデレーター)

浜野 京 内閣府知的財産戦略推進事務局政策参与(パネリスト)

長谷川 浩一 (株)はせがわ酒店代表取締役社長

クリストファー・ペレグリーニ 俳優、焼酎咧酒師

渡邊 賢一 元気ジャパン代表理事、ジャパン・ハウス・ロサンゼルス地方創生・官民連携戦略アドバイザー

玉那覇 美佐子 沖縄県酒造組合会長

大城 勤 沖縄県酒造協同組合理事長



泡盛製造者等約120名が参加

こと」の重要性を強く指摘し、「我々内閣府もその先頭に立つ」との決意を述べました。(注)

(注)内閣府は、泡盛の振興策などについての検討会を4月に立ち上げました。